

## EUROBIKE2011

今年で20回目の節目となった自転車展示会 EUROBIKE2011 は、ドイツ南部のフリードリッヒスハーフェンにて、2011年8月31日(水)～9月3日(土)の4日間、開催された。ビジネス関係の来場者数は前年並みの40,000人以上を数え、出展社数は同比5.6%増の44カ国・地域1,176社となり出展者は更に増加した。更に前年同様1,800人の取材陣が訪れ、一般公開日には20,000人を超えるユーザーが詰めかけた。

### 【EUROBIKE2011】

主催： メッセ・フリードリッヒスハーフェン有限会社

開催地： ドイツ・フリードリッヒスハーフェン

会期： 2011年8月31日(水)～9月3日(土) 8/31-9/2 ビジネスデー、9/3 一般公開

展示会場及び面積： 14ホール、100,000㎡(昨年同様)

入場者数： ビジネス来場者 100カ国以上40,000人超(昨年104カ国41,482人)

一般来場者 20,000人超(昨年22,300人)

出展社数： 44カ国・地域1,176社 ※9/13付出展者リスト集計(昨年42カ国1,114社)



フェルト



ゴースト

### 1. 展示会概要

EUROBIKEの最多出展国はドイツの391社であり、昨年より35社増と約1割増しであったが、これは既存の出展者が展示会場中央部の電動アシスト自転車コーナー(FGOホール)に別途小間を確保したものが重複して数えられているためであり、新規企業の純増とは言い難い。その他の欧州地域では、イタリア158社、オランダ57社、スイス41社及び英国38社等、上位陣は出展者が増えた一方で、アジア地域は台湾209社、中国49社と昨年同様にとどまった。なお、米国の出展者は昨年の1割増の45社と増加率の高さが目立つものの、国・地域別出展者を全般に見れば大幅な変化はなく、出展者数はこの辺りが限界に近い。

増え続ける出展希望者への対策として、昨年同様、今年もホール A3 奥に仮設展示場を設けた。更に部品、付属品の出展者が多い B2 ホールでは、ホール内の通路を 1 本減らし、中小規模のアイランドブースを統合する等して、展示面積拡大を図り出展者数を増やす大胆なフロアプラン変更もした。しかしながら、会場全体の大幅な面積拡大は難しく、いまだ新規参加を待つ出展希望者に今回どれだけ応じることができたのかは不明である。

## 2. 変化の兆し

一方、出展者の中には現在の欧州経済動向の不透明さから、経費節減ともみられる動きがすでに各所で見られ始めている。

各出展者のブースについては、従来、MTB 中心のブランドが木材や土などを多用しアウトドアのイメージを打ち出したブースで展示をするケースが見られたが、今回は更に各所で木製の壁や什器を使ったブースが増えた。無垢の木材は比較的装飾が簡便で費用も軽減できることが要因とも考えられる。

また、小間面積の平面的な拡大が困難な今、一部の大規模ブースでは商談室や事務局を 2 階部分に設けた小間も増えているが、更に中小規模ブースでも 2 階建てブースが出現するようになってきた。平面のブースに比べて 2 階建て費用面や安全管理上で出展者の負担は大きくなるが、限られたスペースを有効に使うための苦肉の策ともいえる。



木材を利用するブースが増えた



2階建ての中小規模ブースも出現

また、従来は数多くの自転車をブース内に隙間もないほど陳列していたメーカーが、展示台数を減ら



し空間に余裕を持った展示形態に変更していた。デザイン上の変更だけでなく、装飾の簡素化による費用節減も考慮されたとも見受けられる。

### 3. 主役は電動アシスト自転車

本年も各出展者の小間で電動アシスト自転車（EPAC）が数多く出展され、最も注目を集めた車種と言える。従来はシティ車やトレッキング車タイプの EPAC が多かったが、ダイヤモンドフレームの MTB 等、スポーツ車タイプの EPAC も増えている。昨年から EPAC 出展の主会場になった感のある FGO ホールは更に出展者が増えた。

特に今年はゴースト、キューブ、スティーブンス及びシンプロン等、独市場で中、高価格帯のスポーツ車を主に展開してきたブランドも、FGO ホールに小間を持ち EPAC の試乗車を用意していた。EPAC を新たに車種に加えるスポーツ車メーカーは更に増え、また、去年のボッシュに続き今年も自動車メーカーのスマートが EPAC を出展する等、他業種からの参入も見られ、ドイツ自転車市場における EPAC ブームはしばらく続くものと見られる。



スマートの EPAC



シティ車タイプの EPAC (KTM)



MTB タイプの EPAC (左：ハイバイク、右：CONWAY)

### 4. JBPI ブース

本年 9 回目の出展となる JBPI ブースは、面積は昨年と同じ 60 m<sup>2</sup>であるものの、小間位置を B2-304 に移し、(株)スギノエンジニアリング、(株)三ヶ島製作所 (MKS)、OGK 技研(株)、(株)ヨシガイ (DIA-COMPE)、日

東(株) (NITTO)、(株)加島サドル製作所 (Kashimax)、(株)桑原インターナショナル (Kuwahara) 及び日本ロボティクス(株)の計 8 社の日本企業が共同出展した。上述の B2 ホールのフロアプラン変更による小間移転により、4 面すべてが展示利用可能なアイランドブースから 1 面が他の出展者と隣接する 2 コーナーブースとなり、展示面が 3 面に減った。

しかしながら、新しい小間位置は B2 ホールの中央を貫くメインストリートに面しており、来場者の往来は以前の場所にも増して頻繁であり、B2-304 は好位置にあったといえる。今回、初参加の Kashimax は多種多様なサドルを展示し、また、サドルの製造過程の画像を DVD で流すなど、積極的な展示活動を行い、Kuwahara は MTB や BMX 等の完成車を展示し、来場者の注目を集めた。近年のシングルスピード車人気により、JBPI ブースは従来から日本の高品質部品が集まる場所として知られていたが、ブレーキ、ペダル、ハンドルバー、ステム、ギヤクランク等に今年はサドルも加わり、JBPI ブースの一層の充実が図られた形となった。



共同出展ブース (左 ; NITTO、右 ; MKS)



共同出展ブース (左 ; Kashimax 右 ; DIA-COMPE)

EUROBIKE 会場内にて、及び展示会終了後に別途、シングルスピード車関連の催事があったため、今回は特にシングルスピード車を中心に扱う代理店、小売店等の関係者がより多く当地に集まった可能性がある。欧州地域では同車種の人気は先行するドイツ、イギリス等を中心に、南欧や中東欧諸国まで幅広く、更には世界各国からも JBPI ブースに押し寄せ、それらの人々は総じて若く熱意を感じた。ブームが一服した感のあるシングルスピード車であるが、このまま一車種として定着するのか、数年後には消



え去るのか、今が正念場である。

なお、昨年 JBPI ブースに共同出展者として初参加した Hide&Mc は、この EUROBIKE 参加をきっかけに、自社ブランド「PEdAL ED」がセラ・ロイヤル/ブルックスグループに参画することが決定し、今回は同グループブースから出展した。今後も同社に続き JBPI ブースを第一歩として広く海外で活躍する日本製品や日本企業の出現に期待したい。



PEdAL ED ブースの様子

## 5. 今後について

今回、会場と宿泊先の往復のため、主催者が用意した専用シャトルバスを利用したが、かつてのような交通渋滞や遅延は殆どなく、毎朝夕、予定通りバスは運行され、車内がすし詰め状態で混み合うこともなかった。来場者は昨年並みとされることから、人が減ったのではなく、主催者の努力による交通手段の改善と、参加者の移動手段の分散化がすすんだ結果と見られる。参加者はより一層、社用車やツアーの専用バス等を利用する傾向が強くなり、それだけ多くの人々が会場から離れた公共交通機関の利便性が高くない場所に宿泊している証でもあり、依然、宿泊施設の問題は解消されていない。

なお、展示会の最終報告で、従来は来場者数などの正確な数値をすぐに公表していたが、本年は4万人以上等と概数しか公表しなかった。主催者が正確な情報を公表しなくなることは、衰退していったかつての自転車展示会等で往々にして見られた事象であり、今回がその兆しとならないか多少懸念される。

来年8月中旬にはミュンヘンで ISPO Bike が真っ向勝負を挑む形で開催される予定である。EUROBIKE 展の地位はしばらく安泰であると思われるが、ISPO とメッセ・ミュンヘンという強力な体制により国際自転車展の開催を本気で目指せば、今すぐは無理だとしても、10年単位の長期で見れば、その趨勢は誰にも予測や断言はできない。

今後、ドイツの両自転車展の動向は大変注目されるが、次回 EUROBIKE2012 は 2012 年 8 月 29 日(水)～9 月 1 日(土)の 4 日間の予定である。

以 上

(国際業務部)

「参考」

別表：EUROBIKE2011 国・地域別出展者数

国・地域名	出展社	国・地域名	出展社
ドイツ	391	ギリシャ	1
イタリア	158	セルビア	1
オランダ	57	マルタ	1
スイス	41	スロベニア	1
英国	38	サンマリノ	1
スペイン	26	リヒテンシュタイン	1
オーストリア	23	アンドラ	1
フランス	21	南アフリカ	2
ベルギー	17	チュニジア	1
チェコ共和国	11	米国	45
デンマーク	8	カナダ	6
スウェーデン	6	オーストラリア	3
ハンガリー	4	ニュージーランド	1
ポルトガル	4	台湾	209
ブルガリア	3	中国	49
イスラエル	3	日本	14
スロバキア	2	香港	7
ポーランド	2	タイ	5
トルコ	2	パキスタン	4
フィンランド	1	シンガポール	1
ノルウェー	1	スリランカ	1
ルーマニア	1	マカオ	1
		合計 44 カ国	1,176 社

※上記数値はメッセ事務局 9/13 付展者リストより集計。